

令和4年度  
花巻市行政評価委員会評価報告書

令和4年12月  
花巻市行政評価委員会

# 令和4年度

## 花巻市行政評価委員会評価報告書

### 目次

1	委員長あいさつ	1
2	花巻市の行政評価の概要	
	・行政評価とは	2
	・行政評価の目的	3
	・花巻市まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価	3
	・行政評価の手法	4
	・市民参画による評価	4
3	花巻市行政評価委員会における評価の視点	5
4	花巻市行政評価委員会の評価対象施策	6
5	花巻市行政評価委員会の評価スケジュール	7
6	令和4年度施策評価検証シート	
	・しごと部会	8
	・暮らし部会	10
	・人づくり・地域づくり部会	12
7	行政評価の改善に関する提言	14
参考資料		
	・花巻市行政評価委員会設置要綱	15
	・花巻市行政評価委員会委員名簿	16

## 1 委員長あいさつ

今年度の花巻市行政評価委員会（以下、「委員会」と呼ぶ）の報告書をここにまとめることができました。ご多忙のところ貴重なお時間を割いて評価作業に取り組んでいただいた委員各位、行政評価ヒアリング対象となった主管課の方々、円滑な運営に尽力いただいた事務局の皆さま、そして本委員会に関係する全ての方々に深く感謝申し上げます。

ここでいう「行政評価」とは、行政運営の一手法として考えられているところのものです。行政主体が自ら行う政策、施策また事務事業について、成果指標等を用いて分析し、その有効性や効率性、必要性を行政主体自らが評価する。いわば行政の自己評価です。その目的は、評価結果を次の企画立案に生かすなど、主に政策を質的に向上させることにあります。花巻市では平成19年度からこの行政評価を導入しました。さらに平成26年度からは、10年間を計画期間とする「花巻市まちづくり総合計画」が策定されたことを機に、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した施策評価を中心とする評価システムが運用されています。

本委員会は平成23年度、市民参加を通じ花巻市が行う行政評価の客観性と透明性を向上させ、評価の充実を図るために設置されました。花巻市が実施した行政評価の内部評価の結果を外部の視点で評価すること、そしてまた行政評価の改善について必要に応じて提言等を行うことが主な所掌事項です。評価のための評価ではなく、評価が向上につながることを大切にしたいと思えます。試行錯誤を重ねながら地道にそのための経験を積み重ねていければと考えております。

ささやかながら、本報告が花巻市の行政運営向上に資するところとなれば幸いです。

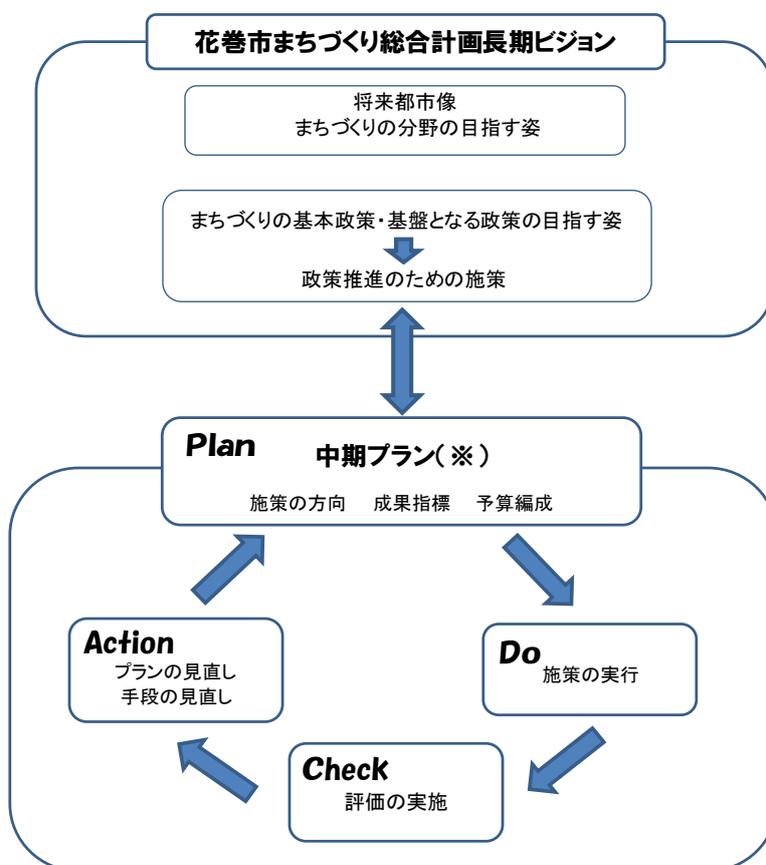
花巻市行政評価委員会 委員長 鈴木 健

## 2 花巻市の行政評価の概要

### 行政評価とは

行政評価とは、花巻市まちづくり総合計画における政策や施策、事務事業についてどのような成果があったかを客観的に評価し、その結果を次の施策等に反映させるためのものです。

具体的には、花巻市まちづくり総合計画の政策体系に沿って、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）のサイクルにより、前年度の結果を振り返り、そこから改革や改善の方策を考えて、次年度の施策の方向や予算等に反映させます。



(※) 中期プランは、総合計画に掲げる将来都市像を実現するため、目標年次までに取り組む施策の基本的な方向性や数値目標、主要事業を示すものです。総合計画期間である10年間で3年・3年・4年の3期に区分して策定しています。

図1 【総合計画を中心とした行政運営】

## 行政評価の目的

### (1) 効果的・効率的な行政運営の推進

限られた行政資源（ヒト、モノ、カネ）を最大限活用し、事務事業の効率化、適正化を図るとともに、目的の達成状況等を評価して見直し・改善を行います。

### (2) 市民への説明責任と行政情報の共有

評価結果をわかりやすいかたちで公表することで、市民に対する説明責任を果たすとともに、市政への共通認識を深め、市民と行政との協働の取組を進めます。

### (3) 職員の政策形成能力の向上と意識改革

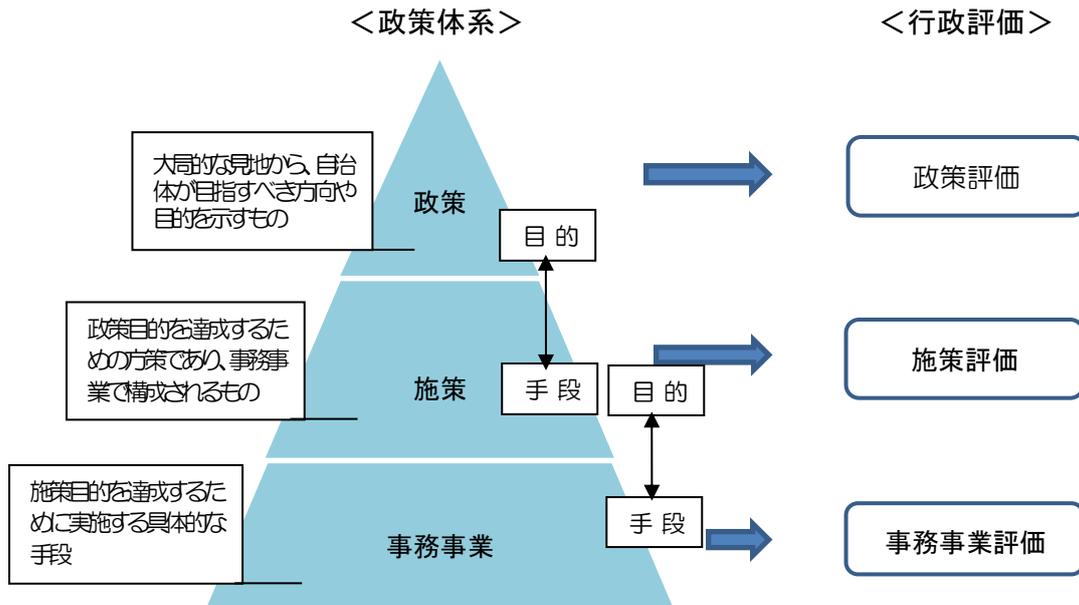
評価を通じ、目的・成果・コスト意識をもつことにより、職員の政策形成能力の向上や財源を効率的・効果的に活用する意識の徹底を図ります。

### (4) 花巻市まちづくり総合計画の進行管理

花巻市まちづくり総合計画の各施策について、成果指標の達成状況の把握等により、その進行管理を行うとともに、施策目的達成のための事務事業の構成など、施策の方向性を検討し、次年度の重点施策の策定と予算編成への活用を図ります。

## 花巻市まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価

花巻市まちづくり総合計画は、花巻市の目指すべき将来都市像「市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く 笑顔の花咲く温か都市 イーハートープはなまき」を実現するため、5つのまちづくりの分野の目指す姿の下に、政策、施策、事務事業の3つの階層によって体系が構成されています。花巻市の行政評価は、この体系に基づいて実施しています。



## 行政評価の手法

花巻市では、平成 26 年度から 10 年間の計画期間とする花巻市まちづくり総合計画の策定を機に、従来の事務事業評価を中心とした評価から、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した施策評価を中心とする評価システムを運用しています。

### (1) 政策評価

市政の方向を示す政策や政策を構成する施策を大局的な視点でとらえ、政策の目指す姿を実現するための問題点や課題を総括します。【中期プランの各期最終年度に実施】

### (2) 施策評価

政策目的を達成するための手段としての施策の有効性、また、施策を構成する事務事業が妥当かを評価します。評価の主な視点は以下のとおりです。

- 施策の目的と目標の確認
- 施策の現状と課題の認識
- 施策を構成する事務事業の貢献度等の検証

### (3) 事務事業評価

成果指標の達成状況の検証を行うとともに、施策目的を達成するための手段である事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性、公平性の視点で評価を行います。

## 市民参画による評価

花巻市による内部評価だけでなく、市民参画による客観的な評価により、わかりやすく透明性の高い行政運営を実現します。

その一端を担うのが、花巻市行政評価委員会による評価です。花巻市が実施した内部評価の結果について、外部の視点で評価するとともに、行政評価の改善について提言を行います。



第 1 回委員会（委嘱状交付）



第 1 回委員会（全体会）

### 3 花巻市行政評価委員会における評価の視点

花巻市では、花巻市まちづくり総合計画の策定を機に施策評価を中心とした行政評価システムを運用していることから、花巻市行政評価委員会においても、市が行った行政評価のうち施策評価を中心として検証、評価を行いました。

その際、花巻市が作成した「施策評価シート（令和3年度実績評価）」を以下の視点で検証、評価し、「施策評価検証シート」を作成しました。

表1 評価の視点

<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「前年度評価時の今後の方向性」に記載された内容について、実施又は実施に向けた取組がなされているか。また、実施できない場合などは、「反映状況」においてその原因や代替策などが示されているか。<ul style="list-style-type: none"><li>※ 「前年度評価時の今後の方向性」＝令和3年6月（令和2年度実績評価）時点での、令和3年度以降の重点的取組事項等</li><li>※ 「反映状況」＝令和4年6月時点での、上記についての取組状況</li></ul></li></ul>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・成果指標の実績値の増減や実績値の内訳だけでなく、その理由等が明らかになっているか。</li><li>・主観でなく、データ等の根拠が明確な分析となっているか。</li><li>・外部要因だけでなく、市の取組による成果の分析となっているか。</li><li>・「4 施策を構成する事務事業の検証」や「5 施策の総合的な評価」に結びつくような分析となっているか。</li></ul>
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上の余地等を検討したうえで、成果の向上を図る事業、新たに取り組むべき事業などを明らかにしているか。</li><li>・「施策を構成する事務事業一覧」の「直結度」や「成果」などを踏まえた内容となっているか。 見方の例）「直結度」・・・「施策の目指す姿」に貢献するものとなっているか。 「成果」・・・成果が思わしくないものについて検証されているか。</li></ul>
<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「◎前年度の評価の振り返り」の「反映状況」、「3 成果指標の達成状況」、「4 施策を構成する事務事業の検証」等を踏まえて、「施策の目指す姿」の達成につながる分析がなされているか。</li><li>・現状や問題点だけでなく、「課題」（あるべき姿と現状のギャップを埋める方法、目標達成のために市がなすべきこと）を捉えているか。</li><li>・「課題」に対応した「今後の方向性」が具体的に記載されているか。</li></ul>
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施策評価に必要な事項がわかりやすく記載されているか。 （参考）花巻市まちづくり条例 抜粋 第23条 市の執行機関は、主要な施策や事業について市民参画のもとで客観的な行政評価を行い、その結果を分かりやすく公表するものとします。</li></ul>

## 4 花巻市行政評価委員会の評価対象施策

花巻市まちづくり総合計画では、将来都市像と5つのまちづくり分野の「目指す姿」を掲げ、その「目指す姿」の実現のために実施する21の政策と72の施策を示しています。

花巻市行政評価委員会での評価に当たり、「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」の3部会を設置して、各部会において評価対象施策を決定し、計6施策の評価を実施しました。

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会
1-4 観光の振興	1 観光の魅力向上	しごと
1-5 農工商観連携の推進	2 特産品の開発	
2-5 福祉の充実	1 地域福祉の推進	暮らし
2-6 健康づくりの推進	2 母子保健の推進	
3-1 子育て環境の充実	1 子育て支援の充実	人づくり・ 地域づくり
4-1 地域主体のまちづくり	1 地域づくりへの参加促進	



第2回委員会（しごと部会）



第3回委員会（暮らし部会）

## 5 花巻市行政評価委員会の評価スケジュール

回	日時	会議	内容	会場
第1回	6月24日	全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>花巻市行政評価委員会の役割や評価の進め方等の説明</li> <li>部会設置</li> <li>評価対象施策選定</li> <li>日程調整</li> </ul>	まなび学園
第2回、 第3回	7月28日	暮らし部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策担当課へのヒアリング</li> <li>↓</li> <li>花巻市が作成した「施策評価シート（令和3年度実績評価）」の検証、評価</li> <li>↓</li> <li>「施策評価検証シート」の作成</li> </ul>	まなび学園
	8月3日	暮らし部会		
	8月25日	しごと部会		
	8月29日	しごと部会		
	8月29日	人づくり・地域づくり部会		
	8月31日	人づくり・地域づくり部会		
第4回	10月14日	全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果の決定</li> <li>行政評価の改善に関する提言</li> </ul>	まなび学園



第3回委員会（人づくり・地域づくり部会）



第4回委員会（全体会）

		部会名		しごと部会	
施策No.	1-4-1	施策名	観光の魅力向上	施策主管課	観光課
施策の目指す姿	花巻にしかない魅力ある観光資源がたくさんあります				
<b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b>					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について 機能している。ただし、「前年度評価時の今後の方向性」に記述されている事項と「反映状況」の事項との対応関係を読み取ることが難しかった。例えば、「今後の方向性」の第一事項に「教育旅行誘致に取組む」等記述されているが、「反映状況」では、第二事項に記述されているので、対応関係をわかりやすく記述してほしい。</p>					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について 的確に行われている。</p>					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について 的確に行われている。ただし、真意が十分にくみ取れない記述があった。例えば、「コロナ禍の中での開催方法を検証する必要がある」との記述があるが、その真意は、開催方法の検証を通じて、開催方法の改善を行うことで成果の向上を図ることができる、ということであると思われる。</p>					
<p>「5 施策の総合的な評価」について 的確に行われている。「課題」と「今後の方向性」との対応関係も読み取れる記述であった。</p>					
<p>●シート記載内容全般について 先に指摘した点を除けば、難しい専門用語には簡単な説明がなされるなど、文章は市民の立場からでも読みやすかった。</p>					

				部会名	しごと部会
施策No.	1-5-2	施策名	特産品の開発	施策主管課	定住推進課
施策の目指す姿	地場産品を活用し、付加価値の高い多くの商品を開発しています				
<b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b>					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について 機能している。なお、ECのサイト、WEBでの販路開拓、ワイナリーなどは、EC(Eコマース、または電子商取引)のサイト(具体的なサイトがあれば、そのサイト名)、WEB(具体的なサイト名があれば、そのサイト名)、ワイナリー(醸造所)と記載されているとわかりやすい。</p>					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について 的確に行われている。</p>					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について 的確に行われている。なお、事務事業の施策への貢献度における「直結度」の評価については、資料の説明の際にコメントしていただくとよい。</p>					
<p>「5 施策の総合的な評価」について 的確に行われている。</p>					
<p>●シート記載内容全般について それぞれの文章は読みやすかった。</p>					

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-5-1	施策名	地域福祉の推進	施策主管課	地域福祉課
施策の目指す姿	地域の住民が共に助け合って生活しています				
<b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b>					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <p>「福祉の相談窓口の周知方法として、予定していたSNSの活用には至らなかった」とあるが、その理由に関する言及(たとえばコロナ対応のためにSNS活用体制に人員を割けなかったことなど)があれば良かった。「福祉ボランティア活動の参加者や活動件数の減少は」の記述はいささか唐突に出てきたような印象を受ける。その取り組みである懇談会等の開催がコロナ禍の影響で十分できなかったことが書かれていれば、そうした印象をもたなかったかもしれない。全体的に、当該年度はコロナ禍における対応という特別な事情があり、多くの事業は当初の計画どおりに行うことが困難となったことから、方向性に対する反映状況には、「・・・するに至らなかった」あるいは「・・・する必要がある」のように、いわば「反省」のような書き方にならざるをえなかったのは気の毒である。</p>					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <p>当該年度の達成状況に関する市民アンケート結果をもとにした背景や要因の分析はおおむね的確になされていると考えられる。欲をいえば、ここ数年、達成度「B」という状況に変化がないことについての、何らかの考察があればさらに良かった。ちなみに、今後、成果指標とその達成状況に関する背景や要因などの分析をよりの確に行おうとするならば、成果指標となる現行のアンケート設問項目やその内容等の検討も必要になってくるかもしれない。</p>					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <p>「施策を構成する事務事業一覧」の「直結度」や「成果」などを踏まえた内容となっている。</p>					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <p>おおむね、現状と課題をふまえた総合的な評価となっている。全体的に方向性としては理解できるが、可能であればもう少し具体的な取組内容に触れられるようであれば、さらに良かった。</p>					
<p>●シート記載内容全般について</p> <p>(シート記載内容ではないが)今回からヒアリングに担当部長さんが入ることになり、質疑がより充実したものとなった。また部会に際し、事務局から「施策評価シート」をA3版に拡大コピーして配布してもらった。読みやすく助かった。良い配慮である。</p>					

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-6-2	施策名	母子保健の推進	施策主管課	健康づくり課
施策の目指す姿	安心して出産し、親子が健やかに育っています				
<b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b>					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について                      「前年度評価時の今後の方向性」で示された課題に対応する形で取り組みがなされている。</p>					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について                      担当課が健診未受診者に対して電話や訪問などを通して積極的に受診勧奨に取り組んだにもかかわらず、「乳幼児健康診査受診率」が低下した背景・要因として、個々の調査から、入院治療中など個別事情のほかコロナ感染状況および感染不安による受診時期の延期や受診控えなどがその理由として認められており、未受診者は受診の意思がありながらも、いわゆるコロナ禍に係る当該年度特有の特殊事情などにより、年度内の受診を見送るという状況の存在が指摘されている。おおむね的確に分析がなされているものと考えられる。最後の一文はこの分析を受けて「対象者は必要な健診を受診するものと推察される」となっているが、この一文は、このままだと、あたかも担当課が対象者の状況を把握していないかのような誤解を与えてしまうのではないかと懸念される。たとえば次のような文章にすることで、この一文の趣旨がより分かりやすくなるのではないかと。(修正例)「・・・、受診率が低下した。未受診者は年度内の受診は見送ってはいるが、受診の意思は確認できていることから、しかるべき時期に必要な健診を受診するものと捉えている。」</p>					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について                      「施策を構成する事務事業の検証」はおおむね的確になされていると考えられる。特に「新たに取り組むべき事業」として「望まない妊娠への対応」を課題としてとりあげている点は、高く評価できる。</p>					
<p>「5 施策の総合的な評価」について                      「前年度の評価の振り返り」、「反映状況」、「成果指標の達成状況」、「施策を構成する事務事業の検証」等を踏まえ、施策の課題と今後の方向性についてその総合的な評価がおおむね的確になされていると考えられる。とりわけ、全体として妊娠届出数自体は減少している一方で支援を必要とする妊婦の数は逆に増加していること、そして支援が必要とされる個々のケースはその内容が複雑化・多様化していることなど、現時の社会における母子をとりまく状況とその健康保持・増進の課題が的確にとらえられていると評価できる。</p>					
<p>●シート記載内容全般について                      施策の目指す姿は「安心して出産し親子が健やかに育っています」となっているが、施策評価シートには産後ケアに関わる部分の記載はあるが出産までの支援に関する事業の記載が比較的少ないように感じた。例えば、産科医療機関についての記載など周産期医療に関してどうなっているのか、記載がないことが気にかかった。今回ヒアリングをして、周産期医療に関する事業は他の施策「地域医療の充実」のところで扱われていることを知った。目指す姿が複数の施策を構成する事業に関わっている場合、現行の施策単位の評価の方法だけだと、適切な評価の実現を目指すにあたり一定の限界があるかもしれない。</p>					

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-1-1	施策名	子育て支援の充実	施策主管課	こども課
施策の目指す姿		安心して子育てしています			
<b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b>					
<p><b>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の実績値が目標値から乖離し続けており、前年度評価時の今後の方向性として、「アンケート内容の見直しを行い相談体制が不十分と感じる理由を分析する」としているが、アンケート内容について深く掘り下げて検討すべきであった。</li> </ul>					
<p><b>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の子育て相談体制の満足度について、3歳児検診アンケートで成果指標を測定しているが、3歳児のみならず、子育ての時期に当たる幅広い年齢層の状況についても、抽出調査でもよいので、把握した上で分析すべきではないか。</li> <li>保育所の待機児童について、「保育士不足」とあるが、どの程度不足しているのか等、その詳細が不明であるので、さらなる深く掘り下げた分析を求めたい。</li> <li>「待機児童の増加」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、家庭で子どもをみなければいけなくなった家庭も増加しているため、そのことをふまえた説明も必要ではないか。</li> </ul>					
<p><b>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童支援事業について、放課後児童クラブについても支援員が不足している状況にあることから、それに対する対応も必要ではないか。</li> </ul>					
<p><b>「5 施策の総合的な評価」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題として提示されている「子育てに関する相談窓口について十分に認知されていない状況」について、さらに掘り下げて具体的な今後の方向性を示すための分析が必要ではないか。</li> <li>課題として提示されている「施設の老朽化」について、いつ何を行う予定なのか等、明確に記載すべきである。</li> <li>「支援員の不足」および「保育士不足」について、どの程度不足しているのかについての定量的なデータを示すべきである。さらに、市内各地域の状況についても分析すべきではないか。</li> <li>今後の方向性の多くの項目に「周知を図る」と記載されているが、周知を行うだけでは今後の方向性とは言えないのではないか。これまでも周知を行ってきており、周知以外に取り組むべきことを検討し、今後の方向性として具体策を示すべきである。</li> </ul>					
<p><b>●シート記載内容全般について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策評価シートの各項目間はリンクしているはずであるから、各項目間のつながりを明確にし、それぞれ対応させて記載すべきである。</li> <li>成果指標の達成状況について、その背景・要因についての深い分析が必要と思われるが、記入欄が狭いため、十分に分析を行っているかどうかについて判断がつかない。詳細に記入できるよう改善を求めたい。</li> </ul>					

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	4-1-1	施策名	地域づくりへの参加促進	施策主管課	地域づくり課
施策の目指す姿		老若男女多くの住民が地域づくりに参加しています			
<p><b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b></p> <p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反映状況に「促進につなげていく」という表現があるが、実績を示す表現ではないので、改善を求めたい。</li> <li>・コミュニティ助成事業について、「市HP等で周知」とあるが、口頭での説明では「広報はなまき」での周知が最も効果的であったとのことであるので、より正確かつ具体的な記述を求めたい。</li> </ul>					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の目標値について、コロナ禍以前に目標値として定めたものであるため、成果として整合的かどうかについての判断が難しい状況にある。</li> <li>・施策の目指す姿に「老若男女多くの住民」の地域づくりへの参加とあるので、それをふまえた達成状況の分析が必要ではないか。</li> <li>・成果指標とされている「振興センター利用人数」は延べ人数であるので、その利用内訳や地域差の有無など、さらに深い分析が必要である。</li> </ul>					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業」および「新たにに取り組むべき事業」について「なし」とされているが、その根拠を記載すべきである。</li> </ul>					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興センター等整備事業については、公共施設マネジメント計画に基づき実施されているもので、他部局も関係するものであると思われるので、その記述の仕方には留意する必要がある。</li> </ul>					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策評価シートの各項目間はリンクしているはずであるから、各項目間のつながりを明確にし、それぞれ対応させて記載すべきである。</li> <li>・成果指標の達成状況について、その背景・要因についての深い分析が必要と思われるが、記入欄が狭いため、十分に分析を行っているかどうかについて判断がつかない。詳細に記入できるよう改善を求めたい。</li> </ul>					

## 7 行政評価の改善に関する提言

特になし

## 花巻市行政評価委員会設置要綱（平成23年花巻市告示第273号）

（設置）

第1条 市の行政評価の客観性と透明性の向上を図るため、花巻市行政評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌）

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- （1）市が実施した行政評価の結果について評価すること。
- （2）行政評価の改善について市長に提言すること。
- （3）その他行政評価に関し意見を述べること。

（組織）

第3条 委員会は、委員18人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- （1）公共的団体等から推薦された者
- （2）学識経験を有する者
- （3）公募による者

（任期）

第4条 委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の翌年度末までとし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

（部会）

第6条 委員会に部会を設ける。

2 部会に属すべき委員は、委員長が委員の意見を聴いて指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選とする。

4 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長が指名する部会に属する委員がその職務を代理する。

（会議）

第7条 会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第8条 委員会の庶務は、総合政策部において処理する。

（補則）

第9条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、平成23年7月26日から施行する。

（経過措置）

2 平成23年度において委嘱する委員の任期については、第3条第3項の規定に関わらず、委嘱の日から平成25年3月31日までとする。

附 則（平成26年3月28日告示第72号）

この告示は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成30年4月13日告示第229号）

（施行期日）

1 この告示は、平成30年4月13日から施行する。

（経過措置）

2 この告示の施行の際、現に花巻市行政評価委員会設置要綱の規定により、委員の委嘱を受けている者に係る任期は、なお従前の例による。

## 花巻市行政評価委員会委員名簿

任期：R4.6.24～R6.3.31

区 分	所属団体等	氏 名	部 会	備 考
(1)公共的団体等から推薦された者	花巻農業協同組合	高橋 利光	人づくり・地域づくり部会	
	花巻商工会議所	八木 浩	人づくり・地域づくり部会	
	社会福祉法人花巻市社会福祉協議会	細川 祥	しごと部会	
	一般社団法人花巻観光協会	阿部 久美子	しごと部会	
	花巻市PTA連合会	佐藤 大介	暮らし部会	
	花巻市食生活改善推進員協議会	伊藤 清子	暮らし部会	
	公益社団法人花巻青年会議所	安部 修司	しごと部会	
	一般財団法人花巻市体育協会	久保田 廣美	暮らし部会	
	花巻市芸術協会	菊池 房江	しごと部会	
	花巻市民生委員児童委員協議会	小原 幸子	人づくり・地域づくり部会	
	花巻市地域婦人団体協議会	佐藤 洋子	暮らし部会	
花巻市内学童クラブ連絡協議会	工藤 望	人づくり・地域づくり部会		
(2)学識経験を有する者	学校法人富士大学経済学部	影山 一男	しごと部会	副委員長 部会長
	学校法人富士大学経済学部	鈴木 健	暮らし部会	委員長 部会長
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	市島 宗典	人づくり・地域づくり部会	部会長
(3)公募による者	公募委員	多田 葵	人づくり・地域づくり部会	